

ひとり情シスのIです。

今日は、Windows10とは離れますが、PCにも車検みたいなものがあればという話です。

中学生のころから、PC歴ウン十年というIのもとには、昔からパソコンの調子が悪くなったり、わからないことがあれば、すぐ声がかかってくるくちでした。

それは、転職を繰り返した先でも変わらず、今でも、会社やプライベートで何かあると、声をかけられたり、電話があつたりします。プライベートは、友達が少ないからそんなに声もかからなくなりましたが、会社では何かトラブルがあると真っ先に呼ばれます。

ITシステム部門があるような大きな会社ならともかく、小さい会社だと壊れない限りは7、8年、10年以上も同じPCを使い続けることが多く、そうなってくるとトラブルがあっても、原因を突き止めるのは結構大変です。

特に、時々保存できないとか、止まるとか、その場で再現できないこともあり、また次回同じことあつたら声をかけてくださいねと、言ってその場を後にすることもあります。それで後日現象が再現しないこともあれば、することもあり、なかなか手ごわいです。

また、会社によっては、PCは動いている限りは買い替えなくても大丈夫だと思っているところもあり、保守というところまでなかなか思い至らない現状があります。自分の昔の職場もそんな感じで、調子が悪くなってきたところで、バックアップを取ったほうが良いとか、買い替えたほうが良いとか、色々言ってもなかなか通らず、完全に壊れてから何とかしてくれと言われる始末で、その時は苦々しい思いで修理をした記憶があります。

そこで、今日車を運転しながら思ったのは、PCにも車検のようなものを法律で義務づけて、2年おきに本体を検査して、ある時間以上通電したとか、HDD等に障害の兆しを発見したら、完全に故障する前に部品交換等の措置を行えるような仕組みがあればということです。

車のような部品数も多く複雑なつくりのものを、ほとんど故障することなく維持できているのは、日本特有の車検制度が大きく貢献しています。法律で義務づけているため、1年や2年に1度は必ず検査をし、そして車に詳しくない人でも維持できます。また、古い車は毎年車検をしないといけなくなるため、あまり乗っていなくてもコストがかかるということで、買い替えも進みます。

それをPCにも適用すれば、突然のトラブルや故障で悩まされることも少なくなるのかと思いました。

と、ここまで書いて、車検があるのは、整備不良による事故とかが起こる可能性があるから、それを極力防ごうという考えからだということに気が付き、PCのトラブルぐらいでは普通人は死なないので、そこまでやるのは非現実的ということでした。

それでは、また明日。(I)